

## 人とシステムと未来を創る



人と人とのつながりを大切に。毎朝、全社員でラジオ体操を行い  
協調性、連帯感を確認する

ITは今やあらゆる産業、生活、社会に欠かせない。さらにAI（人工知能）などへの注目が一段と高まっている。1992年2月26日に創業し「小さくともキラリと光るソリューションカンパニー」を目指している(株)エム・エス・アイ（本社・山形市松栄）の金子昌弘代表取締役社長を訪ねた。

―創業までの歩みをうかがいます。

**金子社長** 私は1951年高島町で生まれました。父が米沢興譲館高校2年の時に病死。大学進学を諦め、東京芝浦電気（現東芝）に就職、高卒、短大卒1200人の入社式で、

東芝再建を託された土光敏夫社長が「これからはコンピュータの時代だ」と力説され、東芝コンピュータースクール設立を発表しました。定員100名で資格は理系もしくは工業高校卒。とにかく勉強したかった私は、その場で勇気を奮い立たせ「高校では文系ですが入校できませんか」と質問しました。そのことが評価されたのでしょうか、入学を許さ

れて1年間、電子工学、プログラミング、数学、英語など猛勉強します。ITとの出会いの始まりです。

卒業後、本社プロジェクト本部に配属されて、カナダ、オーストラリアなどで、大成建設、三井物産と共同で建設する火力発電所、水力発電所の経理を担当していましたが、予定されていた海外勤務が、1971年のニクソンショックによる経費削減で凍結されたのを機に2年半で退社し、一念発起し明治大学商学部に入社。都内の大手損害保険会社のコンピュータプログラマー正社員として夜間働きながら卒業しました。

山形に戻りトヨタカローラ山形、通信機器・コンピュータ販売のタフビジネス勤務を経て、40歳で16人の同僚となんとか創業資金を工面し「立派な会社を創ろう」と独立しました。当時はバブルが崩壊し企業倒産が続出。懇意にしていた大先輩が大手IT企業(株)大塚商会（東京）創業者大塚実氏からは「こんな大変な時期に」と驚かれました。社名の「エム・エス・アイ」は、経営システムの統合



「率先垂範」「凡事徹底」を座右の銘に地域に貢献していきたいと語る金子社長



クライアントに寄り添い全力で支援する

### (株)エム・エス・アイ

設立 1992年2月26日  
代表取締役社長 金子 昌弘  
所在地 山形市松栄1丁目5番7号  
TEL 023 (647) 3966

た。社員と共に『山形掃除に学ぶ会』で精力的に活動しています。経営コンサルタントの一倉定さんの「会社は社長の器以上に大きくならない」も衝撃を受けた学びでした。また、東芝再建に大ナタを奮った土光さんの決断力と先見の明、質素な生活に感銘を受けたことを思い出します。

―デジタル化による省人化、業務改革に加え、外国人材の受け入れが急務です。

化を目指す意味のManagement System Integrator (マネジメント・システム・インテグレーター)の頭文字からとったものです。

―経営ポリシーと影響を受けた経営者は。

**金子社長** 販売・生産・スケジュール管理などのシステム開発を軸にホームページ、ウェブコンサルも手掛けていますが、東京一極集中型で技術革新のスピードが非常に速いIT業界で、心がけているポリシーの一つは親会社を持たない、メーカーに依存しない完全独立系を第一に考え「下請けをせず、人とのつながりを重視しクライアントの顔が見える

経営を行っている」ことです。私どもを必要としてくれる企業があれば行政、流通、製造、建設と、あらゆる業種に対応すべくどこへでも出向きます。常に、自分達の力で全部切り開いていかなければならないという緊張感と仕事の面白さを感じています。

もう一つは「みんなで事を成す」ことです。ドライな考え方が多いITの世界の中で、真逆とも言えるウエットな人と人とのつながりを大切にしています。IT企業であっても人間関係を構築したうえで、協調性や連帯感を大切にしたい働き方を貫き、立派な技術者である前に社会人として企業人としての人間力を高めてい

くことが大事だと考えるからです。

こうした考え方は偉大な経営者の方から学んだものです。社員8人を引き連れて京セラを創業し世界的メーカーに育て、KDDIの設立や日本航空再建を手掛けた故稲盛和夫さんには最も強い影響を受けました。「動機善なりや 私心なかりしか」など数えきれない教えがあります。

今年1月、稲盛氏から経営理念と人生哲学を学んだ内陸地域の経営者有志と、稲盛氏の教えを改めて学び、さらに成長しようと勉強会「盛心塾山形」を結成しました。

イエローハット創業者で、掃除哲学に学ぶ取り組みを広めた鍵山秀三郎さんからも大きな影響を受けまし

る方の数は42位です。このままでは地域産業は立ち行かなくなることが危惧されます。県は本年度の新規事業に「外国人材の確保・受入環境整備」を挙げています。「率先垂範」「凡事徹底」を座右の銘に、ソリューション事業による業務効率化、生産性向上に寄与するとともに、外国人材紹介の分野でも地域に貢献していきたいと考えています。